

石見地域循環共生協議会設立

島根経済同友会 石央支部

支部長 矢口 伸二

石見地域の持続可能な地域づくりに向けて「石見地域循環共生協議会」(Local Circular and Coexistence Council【LCCC】)を発足いたします。

「石見地域循環共生協議会」は、地域コミュニティ(自治体・企業・経済団体・市民・教育機関・NPO)をつなぐ中間支援組織となるとともに、施策立案・調査研究・人材育成・ノウハウの蓄積まで一貫した活動を展開します。またスマートシティ構想や脱炭素を起点に新たな事業創造や地域連携を目指し、異業種・異文化連携や交流・世代や企業を超えた学びの場として「ヒト、モノ、カネ、情報」の循環を促進し持続可能な地域づくりと豊かな生活の創造に貢献し、ともに創り上げてまいります。

近年、地域を取り巻く社会の変化は激しさを増し、そして不確実で複雑化する社会となる中、地域課題も多様化し解決が難しくなっています。そこで地域課題を解決するために地域コミュニティと協調し取組むことが必要と考え「石見地域循環共生協議会」を発足いたします。

目的

- ・具体的な施策の提案と実施
- ・啓発活動の推進
- ・地域連携の強化
- ・人材育成

活動内容

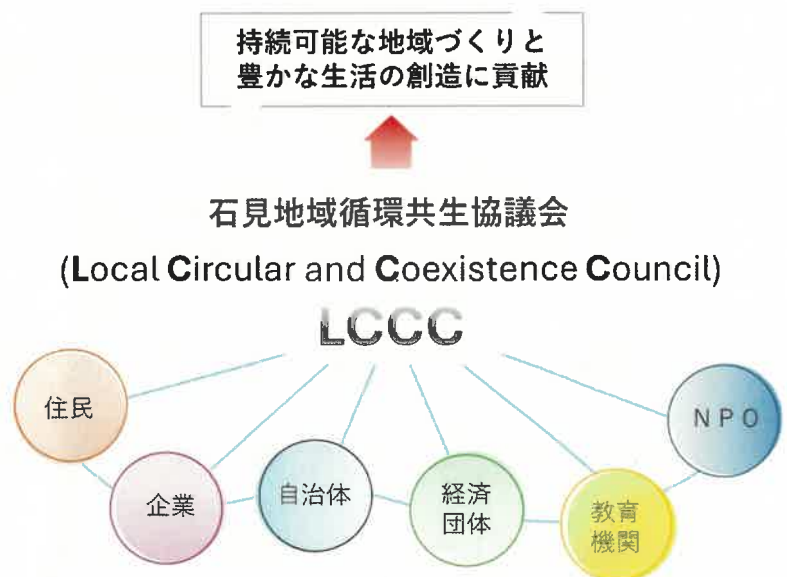
- ・別紙事業案参照

参加者の役割

- ・協議会活動への積極的参加
- ・アイデアや技術の提案・調査・研究
- ・自社及び所属団体における実証

成果

- ・持続可能な社会の構築と経済発展



発起人 矢口伸二、今井久師、福浜秀利、徳富悠司、金田康平、竹内希、井上公明、濱松巧、佐々木弘泰、石田崇、三浦大紀、沖野賢治、高野公愛、寺井龍也、倉本給都、植田節雄、渋谷治

協議会事業案

参加を強く希望する事業に二重丸◎印、その他、ご興味のある事業全てに○印をお願いいたします。下記以外の事業を希望される場合は、下の空欄にご記入をお願いいたします。

- 1：人材育成、ノウハウの蓄積　—　地域・社会の課題を自ら考え動く人材の育成
- 2：スマートシティ　—　キャッシュレス決済、地域通貨、ヘルスケア、モビリティ（交通）
- 3：脱炭素事業　—　地域再エネの活用、新エネルギー調査・研究（水素・メタン・蓄電池・ペロブスカイト）、PPA、再エネ発電所建設、省エネ施策、ZEB、ZEH、LED 照明、断熱材、家電の買い替え、低 Cost・Clean Energy、ゼロカーボン港湾、洋上風力発電、脱炭素農業、土木建築の脱炭素化
- 4：地域連携事業　—　石見地域連携、メディア強化、プラス連鎖、地域未来高解像度化
定住関係人口推進、宿泊・滞在・圏外交流、貿易、国際交流
- 5：少子化対策　—　婚活、子育て支援、乳幼児・一人親のケア、医療、貧困対策
- 6：地域交通　—　EV、電気バス、Car Sharing、Short Way City、港湾・JR 活用
- 7：地域経済の持続可能性　—　資金と情報の地域内循環、新規事業の創出、空き家活用、
漁業・農業高度化・担い手育成
- 8：教育と福祉　—　環境教育、倫理教育・ワークショップ、福祉事業、リスクリング、
イベント、留学支援
- 9：地域コミュニティの強化　—　自治体・企業・NPO・住民・女性連携、スポーツ振興
- 10：BCP 対策　—　災害対策、廃校・集会所の災害時活用、緊急避難所の平時利用
- 11：物流と経済活性化　—　山陰道の開通に対応する、「石見の国」の経済活性化対策
物流・漁港・商港・合板・水・特産品・観光・石見神楽・食事
- 12: その他、上記目的を達成するために必要な事項に関すること

氏名 _____